

平和の大切さを実感して

原爆ドーム（平成8年・世界文化遺産に指定）

昭和20(1945)年8月6日午前8時15分、原爆の被害により崩れた元「広島県産業奨励館」は、誰が言うともなく「原爆ドーム」と呼ばれるようになりました。原爆によって半径2kmにおよぶ市街地が廃墟と化し、この悲惨な事実を後世に伝え人類の戒めとするため、建物の残部に補強工事を施し、これを永久に保存することとしました。その工事費は国の内外にわたり平和を願う多数の方々から寄せられたものです。



広島へ平和使節団を派遣

市は昭和63年3月、非核平和都市を宣言し、平和の尊さ、核戦争の悲惨さを後世に伝えることを目的として、さまざまな事業を行っています。昨年は、市内各中学校からの代表8人を含む、総勢13人の使節団を派遣しました。今年も、総勢13人の使節団派遣を計画しています。

☆派遣スケジュール

7月25日(水)：結団式および事前学習会

8月5日(日)～7日(火)

●平和祈念式典への参加

●平和記念資料館などの見学

●太田川の灯籠流しに参加

参加者の声

原爆ドームを見学した中学生は、「61年という長い年月を経てきた建物なのかと思うと、驚きと感動と恐怖でいっぱいになり、建物自体から流れ出る不思議な空気が辺りを包み込んでいて、原爆が落ちたその瞬間に引き戻そうとしているように感じた」と話してくれました。

被爆61年の平和祈念式典では、慰霊碑に花束を供える人々の姿や代表者の誓いの言葉が、強く生徒の心に残ったようで、平和への思いをより強いものにしていました。

千羽鶴の作成

今年も、市内各中学校の生徒の皆さんを始め、土浦市女性団体連絡協議会、土浦青年会議所の方々や市職員が折った千羽鶴を、平和使節団が代表して「原爆の子の像」へ捧げます。

また、市民課窓口で千羽鶴を折るための折り紙を用意していますので、ご協力をお願いします。

問総務課（☎内線2200、2330）



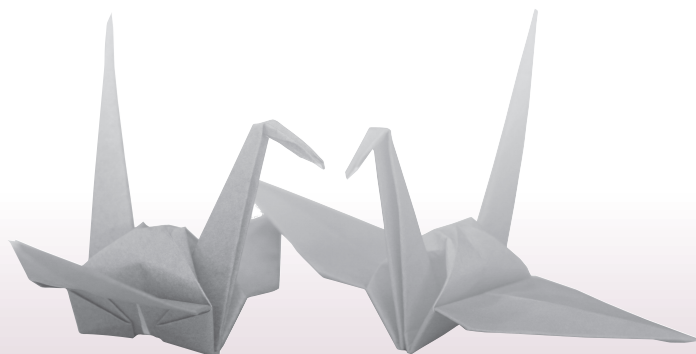
原爆パネル展の開催

被災写真および絵画を展示します。

とき／8月2日(木)～15日(水)

ところ／上大津公民館、都和公民館

昨年の来館者数／四中地区公民館…2016人、新治総合福祉センター…868人(いずれも開催期間中の人数)



原爆死没者慰霊と平和祈念の黙とう(1分間)に、ご協力をお願いします。

とき／8月6日(月) 午前8時15分(広島市)

8月9日(木) 午前11時2分(長崎市)